

講演会 (総会を含む)

「台湾有事」と南西諸島の戦争準備

1978年に日本は、日中平和友好条約を中国と結び、互いに脅威にならないことを確認しているのです。台湾は現状維持、中国は台湾が独立しようとしないうり限り侵攻しないことから簡単に「台湾有事」はあり得ません。

戦争で儲けるアメリカのための代理戦争とならないよう、外交と「東アジア共同体」構想で、戦争のない鹿児島・沖縄を訴えます。



木村 朗さん

日程

- 14:00 総会
- 14:30 ビデオ上映
- 15:00 講演
- 16:00 意見交換

コロナ対策、
マスク・消毒のご協力を！

1954年小倉生まれ。九州大学法学研究科・博士課程単位取得退学。鹿児島大学名誉教授(平和学・国際関係論専攻)、東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会共同代表。国際アジア共同体学会理事長、東亜歴史文化学会副会長、日本平和学会理事。鹿児島を戦場にさせない県民の会共同代表。

現在、那覇市に居住しながら、FM ぎのわん、東京では isf(独立ウ言論フォーラム)の編集長として著名人との対談を YouTube で多数配信している。

主な著作は、『危機の時代の平和学』(法律文化社)、『市民を陥れる司法の民一志布志冤罪事件と裁判員制度をめぐって』、『沖縄自立と東アジア共同体』(花伝社)、『21世紀のグローバル・ファシズム』、『中国・北朝鮮脅威論を超えて』(耕文社)、『核時代の神話と虚構』(明石書店)、『核の戦後史』(創元社)、『沖縄謀叛』、『昭和・平成』戦後政治の謀略史』、『もう一つの日米戦後史』(詩想社)など多数。

2023年 5月7日(日) 14時

始良公民館(帖佐駅近く)

入場料

1,000円(事前チケットでご入場下さい)

この一部を会の運営に使わせていただきます。